

# LIBRARY NEWS

令和4年7月13日 No.4

新座市立第三中学校

校長 和久井 功雄

(図書室だより) 図書整理員 名本 浩子

先月の6月末から7月の中旬にかけて、最高気温35℃以上の猛暑日が1週間以上も続き、1875年の統計開始以降、猛暑日の連続日数の記録を更新し、最高記録となりました。その後も、猛暑日ほどではないものの、毎日、蒸し暑い日が続いています。七夕の7日は小暑でした。これから、暑さの本番の到来です。そんな暑い日には、涼みながら読書するのもおすすめです。1学期間、がんばった身体と心を休ませてあげましょう。

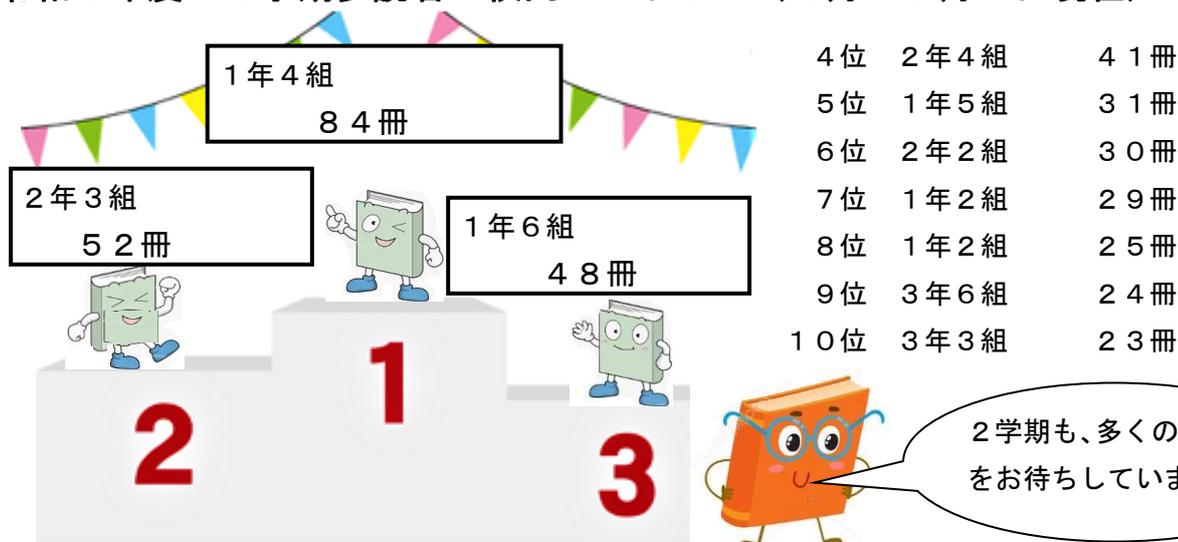
さて、まもなく夏休みですね。長期の休みを利用して、旅行する人もいると思います。また、アプリを使えば実際に旅行に行かなくても、バーチャルな体験をすることができます。本も、すごいですよ。海外、宇宙、行ったことのないところ、仮想の世界。千年以上も前の時代を見たり、知ったりすることができます。本を開けば自宅にいながら未知の世界を「冒険」できる。読書の夏！ぜひ、いろいろな本と出会って、世界を広げましょう。

1学期間、多くの人に図書室を利用してもらい、うれしく思っています。新型コロナウイルスの感染がまた、広がりつつあります。健康に気をつけて、元気な日々を送ってください。2学期もまた、図書室で会いましょう！



## 表彰!

令和4年度 1学期多読者 校内ベスト10 (4月～7月8日現在) (敬称略)



2学期も、多くのご利用をお待ちしています!



貸し出し冊数が多かった本ベスト3 (4月～7月8日現在)

【1位】

・「とある魔術の禁書目録 12」

鎌池 和馬/著

(メディアワークス社)

・「死にたがりの君に贈る物語」

綾崎 隼/著

(ポプラ社)



【2位】

・「とある魔術の禁書目録 13」 鎌池 和馬/著

【3位】

・「スモールワールズ」 一穂 ミチ/著 (講談社)

・「倒産続きの彼女」 新川 帆立/著 (宝島社)

・「5分で読書」 カドカワ読書タイム/編 (KADAKAWA)

・「雨上がり、君が映す空はきっと美しい」 汐見 夏衛/著 (スターツ出版)

4位には、「5秒後に意外な結末」、「52ヘルツのクジラたち」、「100万回死んだねこ」、「教室がひとりになるまで」、「元彼の遺言状」などが入りました。

# 新着図書のご案内

お待たせしました！新しい本がたくさん届きました。貸し出しの準備も完了しました。19日（火）までは、長期休業前の特別貸し出しで、1人5冊まで借りられます。どんな本が入ったか、ぜひ見に来てください！

2022年本屋大賞受賞作、ノミネート作品、そろいました！

本屋大賞 『同志少女よ、敵を撃て』（早川書房）

あいきか とうま 著  
逢坂 冬馬 著



- ・第11回アガサ・クリスティー賞大賞
- ・キノベスト2022 第1位
- ・第166回直木賞 候補作
- ・第9回高校生直木賞 候補作

独ソ戦が激化する1942年。ドイツの狙撃手によって母や村人たちの命を奪われた少女セラフィマ。復讐を果たすことだけを生きる糧とし、女性だけの狙撃小隊に加わり、最大の激戦地へと向かう。地獄化した戦場で、同志が次々に命を落としていく中、セラフィマの復讐心はどこへたどり着くのか。フィクションですが、実在した女性狙撃手の実話をもとにした戦争小説です。

本屋大賞 第2位

『赤と青とエスキース』

青山 美智子 著  
(PHP研究所)



筆者は2021年の本屋大賞も第2位を受賞。

エスキースとは本番として描く前の下絵のこと

青い鳥のブローチをつけた金魚のような赤いブラウスを着た女性の肖像画。オーストラリア、メルボルンの若手画家が描いた一枚の「エスキース」を通してつながった、五つの連作短編小説。しかも、それぞれの章には、「赤」と「青」が関連している。この絵を描いた画家は言う。「ああ、いい絵だ。」読者は読後に言う。「ああ、いい本だ。」

本屋大賞 第7位 小田雅久 著『残月記』、  
第9位 米澤穂信 著『黒牢城』も入りました。

## ミステリー・推理で ソクッ！ヒヤッ！

『小説 バスカヴィル家の犬 シャーロック劇場版』（宝島社）

たかせしゅうほう 著



原案はシャーロック・ホームズシリーズの作者 アーサー・コナン・ドイル

その謎解きを、後悔する犯罪捜査コンサルタントの誉獅子雄と助手の若宮潤一は、離島に伝わる“魔犬の呪い”と、相次ぐ事件の真相解明に挑む！

資産家の変死 その娘を誘拐した犯人は？

6/17 公開  
ディーン・フジオカ、岩田剛典 W主演の映画ノベライズ

『闇祓』（角川書店）

辻村 深月 著



「ヤミハラ」とは？闇ハラメントの略。心が闇の状態から生じる、自分の事情や思いなどを一方的に相手に押しつけ、不快にさせる言動や行動のこと。

「うちのクラスの転校生は何かがおかしい—」不審な行動をくり返す転校生・要に恐怖を覚えた委員長・滯は、憧れの先輩・神原に助けを求めるが—。身近にある名前を持たない悪意が増殖し、迫ってくる。一気に読みエンターテインメント！（出版社 書誌情報参照）

他にも、『学校の怪談』シリーズ、『意味がわかるとゾッとすると話3分後の恐怖』シリーズなど、怖い本の書架にあります。

## 知ろう！学ぼう！

『完全版 はだしのゲン』全7巻  
中沢 啓治 著（金の星社）

筆者自身の原爆の被爆体験をもとにした自伝的漫画。10年ほど前、描写が過激ということで、閉架（本棚に置かず、別置きすること）や回収の措置を行い、閲覧を制限した問題は、賛否両論にわかれ、全国で話題になりました。戦争を知らない世代だからこそ、この本から、戦争や原爆の悲惨さを知り、平和を願う気持ちをもち続けることが必要だと思います。



ハンセン病について  
正しく理解しよう

『麦ばあの島』全4巻  
古林 海月 著

(すいれん舎)



ハンセン病患者・家族の苦しみや悲しみが胸に迫る感動の物語

人気シリーズの新刊も届いています！

- ・『ふしぎ駄菓子屋銭天堂』17、
- ・『5分後に意外な結末 ex』
- ・『ラストで君は「まさか！」と言う』
- ・『やっぱりざんねないきもの事典』
- ・『ジュニア空想科学読本』24 など
- TVで話題になり、書店ランキングでも上位になった本も多く取り寄せました！
- ・新川帆立の『剣持麗子のワンナイト推理』『競争の番人』
- ・辻村深月の『レジェンドアニメ！』
- ・東野圭吾の『マスカレード・ゲーム』
- ・町田そのこ『宙ごはん』
- ・辻堂ゆめ『二重らせんのスイッチ』など
- 文庫本もよりどりみどり！お楽しみに！！